

んです。私仕事をしている男だということだけ皆さんご確認下さい。泡沫候補ではありませんのでね。お願い致します」

記者殿「人口減少対策と同一労働同一賃金などの実現をしますということでいいですね」

吉村親房「同一労働同一賃金だけということは、控えて下さい。小さい部屋に入りますから。そうではなくて、私が申し上げるのは、そういう、小さい所に入り込まないで下さい。お願いですから。じゃあ、まとめましょう。私は、今、日本の社会が、青年たちが報酬が少なくて、非正規と正社員との差別が、格差が、定着してですね。40%から60%の青年が家庭が持てない。結婚できない。勉強ができない状態で、社会が空洞化しているから、それが人口減の原因だと主張しているんです。そこに県議会が取り組まなければいけないと言っているんです。私がするといったら、おこがましいじゃないですか。それが、仕事がありますよと申し上げているんです。ですから、同一労働同一賃金という言葉に部分的に入らずにですね。もっと大きな枠で括って頂きたいんでございますよ」

記者殿「経歴確認書にサインをお願いします」

吉村親房「はい、大丈夫ですよ」

記者殿「ありがとうございます」

吉村親房「どうも、僭越お許し下さい」

